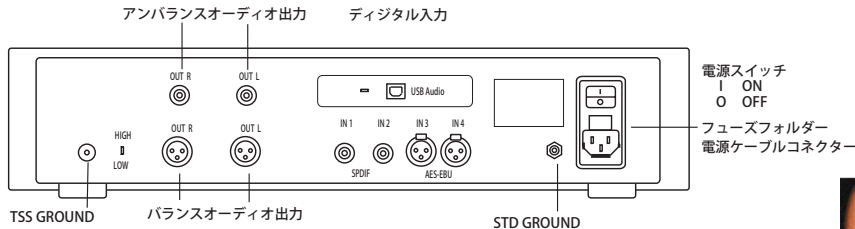


芸術オーディオに捧ぐ

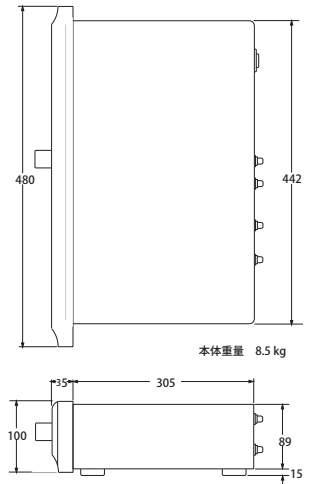


R-DACuは「CDを聴きたい、それも妥協のない素晴らしい音質で」という音楽ファンの声に応えます。さらに192kHz、24bitsを含む、《現在考えられるほとんど全ての》ステレオ・リニアPCM信号に対応します。入力にはSPDIF(同軸)、AES-EBU(バランス)各2、USBの合計5系統。PCオーディオや、話題のBlu-Ray Audioにも完全対応です。そのすべてを768kHz、24bitsというきめ細かなデジタル信号に再構成。したがってD/Aは768kHz、24bitsに統一して処理されます。しかも外部のクロックには一切頼らないので、ジッターに反応しないという大きな特徴を持ちます。この余裕がその後のアナログ信号処理を簡素にし、サンプリングが44.1kHzのCDからも20kHzがフラットでグループディレイのない、つまり音楽の空間情報を蓄えた、極めて素性のよいアナログ信号を取り出すことができます。さらにKINOSHITAがMSP-1AやGA sireis パワーアンプで実証してきた比類なきアナログ技術が生かされています。ダイナミック、繊細、広い空間と立体音場、音楽の醍醐味が伝わります。CDの壁を打ち破った自然な音世界をCDから得る、という夢の世界。さらに最新のHD(high definition)プログラムの鮮やかさ。魅惑的で、衝撃的な体験です。

バックパネル説明図



外観形状図



実測性能の代表値

Digital Input section

Wide input range	Linear PCM	16~24bit / 32, 44.1, 48, 88.2, 96, 176.4, 192 kHz
Transformer isolated SPDIF input	x2	0.2~10Vpp / 75 Ohms
Transformer isolated AES-EBU input	x2	0.5~10Vpp / 110 Ohms
USB input	x1	Custom designed USB1.0 or USB2.0 Receiver

DAC and analog section

True digital to analog conversion rate	768 kHz
Digital to analog conversion resolution	Double 24bit and digital balancing
Total harmonic distortion plus noise at full output	<0.0006% (1kHz) / <0.0004% (10kHz)
Audio dynamic (EIAJ measurement)	130 dB typical
Signal to noise ratio	>130 dB un-weighted (XLR outputs)
Analog bandwidth	Less than -0.06dB at 20kHz
High output driving capability	Down to 50 Ohms (0dB XLR)
Maximum output level	+14dBm (high XLR), -6dBm (low XLR), 2Vrms (high RCA), 0.2Vrms (low RCA)
Digital Volume Control	0 ~ -59dB, 1dB step

電源

電源入力	100V~120V 50Hz~60Hz (日本国内)
消費電力	STANDBY 3W, 動作時 11W 指定により 230V もできます

製品保証 レイオーディオ出荷日より、3年間の長期保証(保証条件あり)



R-DACu Remote Control

KINOSHITA DAC と Rey Audio そのキーワードは "Living Being"

Kinoshita R-DACuは「芸術オーディオ」の開拓者レイオーディオが開発した芸術オーディオのためのDACです。REY AUDIOのアンプやスピーカーと組み合わせると芸術オーディオの神髄を知らせてくれます。

音楽は魂の領域を表現する奥深い芸術です。そして、オーディオによって再現された音楽も、魂が感じられる「本物」でなくてはなりません。

これは当然のことでありながら、これまで実現されていたとは言えません。オーディオそれ自体が、組み合わせで成り立っており、得られる結果も個人の好みの領域で捉えられてきたからです。音楽の真実を伝えるには、オーディオが高度に完成された信頼のシステムであることが大切です。

音楽の魅力は無限ともいえる精神世界の広がりがあります。だからこそオーディオの基準は「自然」に対して求めるべきです。真のニュートラリティーが宇宙的スケールを生み出します。自然に身をゆだねることが無限をとにもする唯一の方法だと思います。

「生きている、存在している」、"Living Being"は音楽の魂のことであり、その理想にせまるのが「芸術オーディオ」です。

